

平成27年度

事業報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人日本デザイン振興会

グッドデザイン賞事業

グッドデザイン賞は、様々に展開される事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、社会全体をより豊かなものへと導くことを目的とした総合的なデザイン推奨の運動である。2015年度のグッドデザイン賞事業は、永井一史氏を審査委員長、柴田文江氏を審査副委員長に迎えた新体制のもと、グッドデザイン賞の新たな役割を見出すべく、新たに設置したフォーカス・イシュー制度を中核に、「審査を通じて次なる社会の可能性を発見する」取り組みを積極的に実施した。



2015年度グッドデザイン賞は、4月2日から応募を開始して9月29日に受賞結果を発表した。総受賞件数1,337件のうち、特に優れたデザインである「グッドデザイン・ベスト100」100件が選出され、その中からグッドデザイン大賞をはじめとする特別賞各賞が決定した。



審査対象数および受賞対象数

審査対象数:3,658件

受賞数:1,337件

(東日本大震災復興支援特例措置枠※1での受賞:60件)

(海外デザイン賞連携※2による受賞:51件)



グッドデザイン・ベスト100:100件

(特別賞内訳)

グッドデザイン大賞(内閣総理大臣賞):1件

グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞):18件

グッドデザイン・未来づくりデザイン賞(経済産業省商務情報政策局長賞):17件

グッドデザイン・ものづくりデザイン賞(中小企業庁長官賞):9件

グッドデザイン・地域づくりデザイン賞(日本商工会議所会頭賞):4件

復興デザイン賞(日本デザイン振興会会長賞):1件



グッドデザイン・ロングライフデザイン賞(日本デザイン振興会会長賞):33件

受賞対象は日本のほか、15の国と地域に及んでいる。生活者視点から製品開発や社会課題に取り組むデザインが増えており、デザインの方法論がより多くの開発関係者に用いられるようになってきていることがうかがえる。グッドデザイン大賞を受賞したパーソナルモビリティ WHILL Model Aをはじめ、大賞投票数の上位3社はいずれもスタートアップ企業であり、ものづくり、ことづくりにおいて新たな兆しを感じる結果となった。

なお、9月29日の受賞発表後に1件の受賞辞退の申し出があり受理した。

グッドデザイン大賞の選出経緯および投票結果

選出経緯

2015年度グッドデザイン賞全受賞1,337件の中で、特に優れたデザインとして位置づけられる「グッドデザイン・ベスト100」の100件から、永井審査委員長と柴田審査副委員長および審査ユニットリーダー、フォーカス・イシュー・ディレクターが、人とものごとの新しい関わり方や、社会における新たな仕組みづくりに挑んだ先駆者などの点をふまえ、大賞候補8件を選出し、10月30日に発表を行った。



WHILL Model A

その後、グッドデザインエキシビション2015会場内に投票所を設置し、10月30日から11月3日までの期間で一般来場者による投票を実施した。さらに、11月4日に開催したグッドデザイン賞受賞祝賀会において大賞候補者自らによるプレゼンテーションを経て、その場で受賞者および審査委員による投票を実施し、最も得票数が多かったパーソナルモビリティ WHILL Model Aをグッドデザイン大賞として選出した。

2015年度グッドデザイン大賞投票結果

順位	得票数	対象名	事業者名
1	2,875	パーソナルモビリティ WHILL Model A	WHILL 株式会社
2	2,080	電動義手 HACKberry	exiii 株式会社
3	969	和食給食推進事業 和食給食応援団	合同会社五穀豊穰
4	936	液晶ディスプレイ フリーフォームディスプレイ	シャープ株式会社
5	839	乗用車 ミライ	トヨタ自動車株式会社
6	647	道の駅 FARMUS 木島平	一級建築士事務所スターパイ ロット+長野県木島平村
7	414	地域経済ビッグデータビジュアライゼーションのプロ トタイピングシステム	株式会社タクラム・デザイン・エ ンジニアリング
8	407	道の駅 ソレーネ周南	一般社団法人周南ツーリズム 協議会

都道府県別受賞件数 内訳

北海道	9	埼玉県	28	岐阜県	19	島根県	0	佐賀県	3
青森県	2	千葉県	16	静岡県	30	鳥取県	2	長崎県	3
岩手県	10	東京都	561	愛知県	52	岡山県	2	熊本県	8
宮城県	17	神奈川県	63	三重県	4	広島県	9	大分県	4
秋田県	4	新潟県	23	滋賀県	0	山口県	7	宮崎県	3
山形県	5	富山県	5	京都府	21	徳島県	5	鹿児島県	2
福島県	10	石川県	3	大阪府	174	香川県	2	沖縄県	2
茨城県	14	福井県	8	兵庫県	23	愛媛県	5	海外	235
栃木県	10	山梨県	0	奈良県	4	高知県	1		
群馬県	6	長野県	13	和歌山県	5	福岡県	16		

海外地域別受賞件数 内訳

Canada	1	Germany	2	Korea	51	Sweden	2	Thailand	44
China	23	Hong Kong	12	Latvia	1	Switzerland	1	U.K.	4
Denmark	1	India	5	Singapore	3	Taiwan	65	U.S.A.	13

※1 復興支援を目的とする特例措置

東日本大震災からの復興を支援するため、2011年度より東北6県と茨城県に本社を置く事業者からの応募に関する費用を免除している。

※2 海外デザイン賞連携によるタイ・インド・シンガポールからの応募による受賞

2008年のタイ王国商務省輸出振興局との連携協定を契機に開始したデザイン賞連携に基づき、タイ(デザインエクセレンスアワード/2008年より)・インド(I Mark/2013年より)・シンガポール(SG Mark/2014年より)の各賞を通じて応募を受け付けている。

事業方針

2015年度グッドデザイン賞は、永井審査委員長、柴田審査副委員長の体制のもとで、グッドデザイン賞事業の課題点および可能性の検討を綿密に進めた結果、審査の精緻化と審査委員の役割の明確化、新たな可能性を発見する制度の導入などが課題として挙げられ、これに基づき以下の制度改善を実施した。

審査の精緻化

- ・ ベスト100候補、ベスト100、特別賞の選出方法などについて詳細なルールを設定した。
- ・ 上記で設定したルールや方法について、応募者にどのように説明したら理解しやすいかを詳細に検討し、明文化を行った。

審査委員の役割の明確化

- ・ フォーカス・イシュー制度とあわせて、各審査委員の役割を明確化した。
- ・ より幅広い観点から審査が実施できるよう、これまで以上に様々な分野の専門家を審査委員会に招いて審査を実施した。

新たな可能性を発見する制度の導入

- ・ デザインが社会にはたらきかけるためのキーテーマとなる「フォーカス・イシュー」を設定し、各テーマに対して「今後の社会における可能性」を発見する役割を担うフォーカス・イシュー・ディレクターを置き、審査結果から発見した内容を提言化した。

フォーカス・イシューの創設

これまでグッドデザイン賞の審査では、様々な社会課題とデザインとの関わりに評価のポイントを置くとともに、デザインの意義や価値を読み解くことを通じて、審査過程で新たな兆しを発見することが間々あった。これを社会へ向けて有効な提言として示すため「デザインが向き合うべき重要な領域」をテーマとして設定し、言説化する取り組みがフォーカス・イシューである。

2015年度は、正副審査委員長よりこのような趣旨に基づく提案を受け、12項目のフォーカス・イシューを設定した。各イシューについて、それらを取りまとめるフォーカス・イシュー・ディレクターを任命し、審査を通じて得られた知見を12の提言として公表した。

審査運営

デザインという概念が社会で広く扱われ、様々な分野でデザインが見立てられるようになり、グッドデザイン賞の応募対象も有形物のほか、サービスやシステム、取り組みなど無形の対象が増加している。さらに、情報社会とグローバル化により、海外からの応募も増加の一途を辿っている。これらの状況をふまえ、2015年度のグッドデザイン賞審査では、より幅広い分野からの応募に対応できるように、応募カテゴリーの見直しを実施した。また、海外での審査会を開催したほか、賞連携を結ぶタイ・インド・シンガポールの事業関係者3名を日本での二次審査会に招聘した。

プロモーション

広く社会に対してデザインの普及と啓発を進めるとともに、グッドデザイン賞の認知度向上・参加誘致を推進するため、グッドデザイン賞を通じた各種のプロモーション施策を実施している。2015年度は受賞展「グッドデザインエキシビション 2015」の主催を中心とする自主施策を行ったほか、全国各地でのグッドデザイン賞をテーマとする展示会やイベント、受賞商品の販売企画などへの協力を行った。



展示イベント

グッドデザインエキシビション 2015(G 展)

2015 年度グッドデザイン賞受賞デザイン 1,336 件の出展を中心に、「特別賞+ベスト 100」特別展示、アジア・アセアンデザインの展示などをはじめ、ベスト 100 受賞デザイナーの公開プレゼンテーションやワークショップなど、デザインを多面的に愉しんで体感できるイベントとして開催した。

会期:10 月 30 日～11 月 4 日

会場:東京ミッドタウン

後援:経済産業省/中小企業庁/東京都/日本商工会議所/日本貿易振興機構/国際機関日本アセアンセンター/日本放送協会/日本経済新聞社/読売新聞社

来場者数:274,730 名

おもなプログラム:

2015 年度受賞デザイン展示、フォーカス・イシュー&グッドデザイン・ベスト 100 特別展示、グッドデザイン・スーパーアカンパニー2015 特別展示、メコンデザインセレクション展、グッドデザイン・ベスト 100 デザイナーズプレゼンテーション、体験コーナー、G マークショップ by D&DEPARTMENT ほか

そのほかの展示・販売イベント等

全国各地での展示企画の実施のほか、近年増加しているグッドデザイン賞受賞商品販売企画も、本年度は東京と札幌の商業機関により実施された。本州初の市中免税店として 2016 年 1 月に銀座三越に開設された「Japan Duty Free GINZA」では、日本文化を体験するコーナーでグッドデザイン賞受賞商品の取り扱いが始められている。

2015年度開催の展示、販売イベントなど(国内)

イベント	NIIGATA DESIGN WEEK	5 月 13 日～8 月 19 日	新潟市内	協力
展示	デザインのチカラ展 2015	9 月 3 日～9 月 4 日	神戸国際展示場	協力
販売	グッドデザインマルシェ in 札幌	2016 年 1 月 20 日～1 月 25 日	大丸札幌店	協力
展示	グッドデザイン賞 in 北九州	1 月 23 日～4 月 10 日	北九州イノベーションギャラリー	協力
販売	遊びをデザイナー「グッドデザイン賞」を受賞した玩具たち	1 月 27 日～2 月 2 日	伊勢丹新宿店	協力
販売	Japan Duty Free GINZA	1 月 27 日～	銀座三越	協力
展示	くらしの中にいいデザイン	2 月 23 日～3 月 27 日	熊本県伝統工芸館	協力
展示	Good Design in チ・カ・ホ	3 月 4 日～3 月 6 日	札幌駅前通地下歩行空間チ・カ・ホ	共催
展示	建築・建材展 2016	3 月 8 日～3 月 11 日	東京ビッグサイト	協力

ジャパニーズファニチャーセレクション

日本の家具産業の活性支援として 2014 年度から開始したセレクション事業を継続実施して、9 件の対象を選出しグッドデザインエキシビション 2015 での紹介などを行った。

説明会

グッドデザイン賞の理念やコンセプト、募集情報などに関する説明会を、4 月から 5 月にかけて国内 17 地点で合計 28 回実施したほか、国外でも韓国、中国、香港、台湾で合計 8 回実施した。

受賞年鑑

本年度受賞デザイン全件と、フォーカス・イシュー・ディレクターによる提言などを掲載した GOOD DESIGN AWARD 2015 を、2016 年 3 月に刊行した。



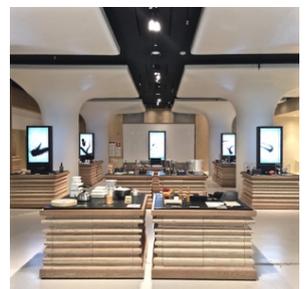
グッドデザインエキシビション 2015



Good Design in チ・カ・ホ



グッドデザイン in 北九州



Japan Duty Free GINZA



2015 年度グッドデザイン賞 特別賞一覧

グッドデザイン大賞(内閣総理大臣賞) 1 件

- ・ パーソナルモビリティ[WHILL Model A]/WHILL 株式会社

グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞) 18 件

- ・ 文房具 [フリクション]/株式会社パイロットコーポレーション
- ・ LED-embedded jump rope [Smart Rope]/Tangram Factory., Inc.
- ・ 電動義手 [HACKberry]/exiii 株式会社
- ・ スチームトースター [バルミューダ ザ・トースター]/バルミューダ株式会社
- ・ コンパクトデジタルカメラ [COOLPIX P900]/株式会社ニコン
- ・ 乗用車に搭載する運転支援システム [アイサイト]/富士重工業株式会社
- ・ 乗用車 [ミライ]/トヨタ自動車株式会社
- ・ エレベーター [HUMAN FRIENDLY コンセプトモデル「HF-1」]/株式会社日立ビルシステム
- ・ 道の駅 [ソレーネ周南]/一般社団法人周南ツーリズム協議会
- ・ 2 型糖尿病治療薬 [トルリシティ皮下注 0.75 mg アテオス]/日本イーライリリー株式会社
- ・ サービス付き高齢者向け住宅 [わかたけの杜]/社会福祉法人若竹大寿会+株式会社ヨシダデザインワークショップ+一級建築士事務所 健康設計+有限会社カネミツヒロシセッケイシツ+日本社会事業大学
- ・ 空港 [成田国際空港 第 3 旅客ターミナルビル]/成田国際空港 第 3 ターミナル プロジェクト[成田国際空港株式会社+株式会社日建設計+株式会社良品計画+株式会社 PARTY]
- ・ 道の駅 [道の駅 FARMUS 木島平]/一級建築士事務所スターパイロット/長野県木島平村
- ・ インタラクティブ LED バスケットコート [ナイキ ライズ ”ハウス オブ マンバ” LED コート]/株式会社ライゾマティクス+AKQA inc.
- ・ 和食給食推進事業 [和食給食応援団]/合同会社五穀豊穰
- ・ スマートコミュニティ [みやまスマートコミュニティ]/福岡県みやま市
- ・ 液晶ディスプレイ [フリーフォームディスプレイ]/シャープ株式会社
- ・ ビッグデータビジュアライザー [地域経済ビッグデータビジュアライゼーションのプロトタイプシステム]/株式会社タクラム・デザイン・エンジニアリング

グッドデザイン・未来づくりデザイン賞(経済産業省商務情報政策局長賞) 17 件

- ・ パーソナルモビリティ [ILY-A]/アイシン精機株式会社+学校法人千葉工業大学
- ・ 作業補助装置 [iArmS]/株式会社デンソー
- ・ 保育園 [はくすい保育園]/社会福祉法人誠友会+株式会社山崎健太郎デザインワークショップ
- ・ テレビ番組 [ミミクリーズ]/株式会社 NHK エデュケーショナル
- ・ iphone アプリ [ハイブリッド黒板アプリ「Kocri(コクリ)」]/株式会社サカワ+株式会社カヤック
- ・ スマート DIY プラットホーム [MESH]/ソニー株式会社
- ・ 学習サービス [勉強サプリ]/株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 勉強サプリ
- ・ 会社設立ソフト [会社設立 freee]/freee 株式会社
- ・ クラウドソーシングサービス [クラウドワークス]/株式会社クラウドワークス
- ・ 自動化機構事例ライブラリーサイト [Unit Library]/株式会社ミスミ
- ・ マンションのランニングコストの見える化 [業界初のマンションにおける環境性能を住戸ごとのランニングコストで表示する「新しい評価軸による見える化」と社内ものづくり改革システム]/株式会社メック eco ライフ+三菱地所レジデンス株式会社
- ・ 全国工務店の相互支援ネットワーク [JAHBnet(ジャーブネット):全国250社の工務店による相互支援ネットワーク]/株式会社アキュラホーム
- ・ オープンイノベーション活動 [OLYMPUS OPC Hack & Make Project]/オリンパス株式会社
- ・ 学習プログラム [青山学院大学社会情報学部 ワorkshopデザイナー育成プログラム]/青山学院大学社会情報学部生涯学習ラボ
- ・ 農業と食文化への取組み:農場併設商業施設 [京都八百一本館]/株式会社セントラルフルーツ+鹿島建設株式会社+株式会社インデス+株式会社ポリディアインク一級建築士事務所
- ・ 教育用家具 [地域産材で作る自分で組み立てるつくえ]/Re:吉野と暮らす会+藤森泰司アトリエ+パワープレイ

ス株式会社+株式会社内田洋行

- ・ 福祉施設 [福祉創造塾ふれあいの部屋]/社会福祉法人柚の木福祉会

グッドデザイン・ものづくりデザイン賞(中小企業庁長官賞) 9件

- ・ 人体内臓分解模型 [KaRaDa]/株式会社マキトール・コンフォート
- ・ 野球バット [レボルタイガー]/美津和タイガー株式会社
- ・ 登山用バーナー [ヤエンストーブ レギ]/株式会社スノーピーク
- ・ 太鼓 [調律桶太鼓 奏]/株式会社浅野太鼓楽器店
- ・ 椅子 [ST チェア]/Tenon 合同会社
- ・ パン画像識別装置 [ペーカリースキャン]/株式会社ブレイン
- ・ レゴ組みかえレシピアプリ [プラスエル]/株式会社ハンゾー
- ・ ウェブサイト(クラウドファンディング) [MotionGallery]/モーションギャラリー
- ・ ビジネスモデル [播州刃物]/小野金物卸商業協同組合+合同会社シーラカンス食堂

グッドデザイン・地域づくりデザイン賞(日本商工会議所会頭賞) 4件

- ・ 旅客車 [箱根登山電車3000形 アレグラ号]/箱根登山鉄道株式会社+株式会社岡部憲明アーキテクチャーネットワーク+川崎重工業株式会社
- ・ 駅前広場と道路 [姫路駅北駅前広場および大手前通り]/明治大学+小野寺康都市設計事務所+ナグモデザイン事務所+WAO 渡邊篤志建築設計事務所+株式会社復建エンジニアリング+株式会社日建設計シビル
- ・ コミュニティーセンター [ひみ漁業交流館 魚々座]/株式会社手塚建築研究所+一級建築士事務所すずき
- ・ 古民家 [シェアビレッジ]/株式会社 kedama

復興デザイン賞(日本デザイン振興会会長賞) 1件

- ・ コミュニティづくり [石巻・川の上プロジェクト]/石巻・川の上プロジェクト

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞(日本デザイン振興会会長賞) 33件

- ・ 瞬間接着剤 アロンアルファ /東亜合成株式会社
- ・ 養生テープ 養生布テープ、P-カットテープ /株式会社寺岡製作所
- ・ クレヨン ペんてるくれよん /ペんてる株式会社
- ・ 修正テープ ホワイパーブチ /プラス株式会社 ステーションナリーカンパニー
- ・ 修正液 修正液 /ペんてる株式会社
- ・ フラットファイル フラットファイル /プラス株式会社 ステーションナリーカンパニー
- ・ 電子体温計 オムロン 電子体温計 MC-670/681 けんおんくん /オムロン ヘルスケア株式会社
- ・ 地上用望遠鏡 フィールドスコープED50/フィールドスコープED50-A /株式会社ニコンビジョン
- ・ カメラ用 交換レンズ群 NIKKOR レンズ群 /株式会社ニコン
- ・ フィルム一眼レフカメラ Nikon F6 /株式会社ニコン
- ・ オーディオ ウェーブミュージックシステム III /ボーズ株式会社
- ・ フキン 日東紡の新しいふきん /日東紡績株式会社
- ・ ゴミ箱 テーパーバケツ(大) グレー/OTL-1、アイボリー/OTL-3、ブラック/OTL-4 /株式会社ぶんぶく
- ・ 収納用品 無印良品 ポリプロピレン整理ボックス /株式会社良品計画
- ・ ライフスタイルシューズ メキシコ 66 /株式会社アシックス
- ・ 照明器具 HomeArchi[ホームアーキ] /パナソニック株式会社
- ・ 揺り椅子、足のせ椅子(折りたたみ) ニーチェアエックス ロッキング、オットマン /株式会社藤栄
- ・ 講義室用机・椅子 SCF-5505 /愛知株式会社
- ・ タイルカーペット 東リ タイルカーペット GA-100 シリーズ /東リ株式会社
- ・ 化粧用コットン THE GINZA リファイニングコットン /株式会社ザ・ギンザ
- ・ スキンケアクリーム ニベアクリーム /ニベア花王株式会社
- ・ 胃腸薬 正露丸 /大幸薬品株式会社
- ・ 清涼飲料水 三ツ矢サイダー びん /アサヒ飲料株式会社
- ・ 清涼飲料水 ウィルキンソン ジンジャエール・ドライジンジャエール・トニック びん /アサヒ飲料株式会社
- ・ 測量野帳 測量野帳(レベルブック、トランシットブック、スケッチブック) /コクヨ株式会社

- デジタルワイヤレスマイク Panasonic WX-DT130 /パナソニック株式会社
- コンデンサーマイクロホン C-38B /ソニー株式会社
- ハンドパレットトラック トヨタ パレットトラック (日本市場名) /株式会社豊田自動織機
- 乗用車、商用車 トヨタ ハイエース(バン、コミューター、ワゴン)、トヨタ レジアスエース /トヨタ自動車株式会社
- 非常ボタン 列車非常停止スイッチ /株式会社三工社
- プール ヤマハFRPプール /ヤマハ発動機株式会社
- 住宅 無印良品の家「木の家」 /株式会社 MUJI HOUSE
- 工業化住宅 壁式鉄筋コンクリート住宅「パルコン」 /大成建設ハウジング株式会社

2015 年度グッドデザイン賞審査委員会

審査委員長 永井 一史
(アートディレクター/クリエイティブディレクター)

審査副委員長 柴田 文江
(プロダクトデザイナー)

ユニット01 パーソナル用品

廣田 尚子(プロダクトデザイナー)
遠山 正道(実業家/クリエイティブディレクター)
松田 朋春(プランナー)
安西 葉子(デザイナー)
柳原 照弘(デザイナー)
Hridaysh Deshpande(プロダクトデザイナー)

ユニット02 生活用品

佐々木 千穂(エクスペリエンス デザイナー)
中坊 壮介(プロダクトデザイナー)
濱田 芳治(プロダクトデザイナー)
平林 奈緒美(アートディレクター/グラフィックデザイナー)
山田 遊(バイヤー)
Boonsanong Ratanasoontragul(プロダクトデザイナー)

ユニット03 キッチン用品、家電

鈴木 元(プロダクトデザイナー)
川島 蓉子(マーケティングマネージャー)
倉本 仁(デザインディレクター)
佐藤 弘喜(博士(デザイン学))
Ulrich Schraudolph(プロダクトデザイナー)

ユニット04 情報機器

ムラタ・チアキ(プロダクトデザイナー)
林 信行(ジャーナリスト/コンサルタント)
みやげ かずしげ(デザイナー)
宮崎 光弘(アートディレクター)

ユニット05 家具、住宅設備

五十嵐 久枝(インテリアデザイナー)
鈴野 浩一(建築家)
長町 志穂(ライティングデザイナー)
服部 滋樹(デザイナー/クリエイティブディレクター)
山田 晃三(デザインディレクター)

ユニット06 モビリティ

森口 将之(モビリティジャーナリスト)
青木 俊介(ロボットエンジニア)
根津 孝太(クリエイティブ コミュニケーター)
羽藤 英二(都市工学研究者)
原 研哉(デザイナー)

ユニット07 医療・研究・生産用機器、設備

小林 昭世(デザイン研究者)
内田 毅彦(医師・医療機器インキュベーター)
内田 まほろ(キュレーター)
緒方 壽人(デザインエンジニア)
村上 存(設計工学研究者)

ユニット08 店舗・公共用機器、設備

橋田 規子(プロダクトデザイナー)
加藤 麻樹(人間工学研究者)
重野 貴(プロダクトデザイナー)
寺田 尚樹(建築家・デザイナー)
樋口 孝之(デザイナー/インテリアプランナー)

ユニット09 住宅、住宅工法

古谷 誠章(建築家/早稲田大学教授)
篠原 聡子(建築家)
中村 拓志(建築家)
松村 秀一(教授、工学博士)

ユニット10 産業・公共用建築、建設工法、インテリア

千葉 学(建築家)
五十嵐 太郎(建築評論家)
石川 初(ランドスケープデザイナー)
日野 雅司(建築家)
山梨 知彦(建築家)

ユニット11 メディア、パッケージ

廣村 正彰(アートディレクター)
齋藤 精一(クリエイティブ/テクニカルディレクター)
中谷 日出(映像アートディレクター)
レイ・イナモト(グラフィック・デザイナー)

ユニット12 一般・公共用ソフトウェア・システム・サービス

久保田 晃弘(デザイナー/アーティスト)
石戸 奈々子(デジタルえほん作家)
ナカムラ ケンタ(実業家、編集者)
暦本 純一(ヒューマン・コンピュータ・インタラクション研究者)

ユニット13 業務用ソフトウェア・システム・サービス・取り組み

日高 一樹(デザイン・知的財産権戦略コンサルタント)
青山 和浩(工学博士)
榎 勝彦(プロダクトデザイナー)
林 千晶(プロジェクトマネージャー)

ユニット14 一般・公共向けの取り組み

横川 正紀(クリエイティブディレクター)
色部 義昭(グラフィックデザイナー)
上田 壮一(クリエイティブディレクター)
南雲 勝志(デザイナー)
山崎 亮(コミュニティデザイナー)

ユニット15 先端デザイン

永井 一史(アートディレクター/クリエイティブディレクター)
柴田 文江(プロダクトデザイナー)

韓国審査ユニット

Do-sung Chung(インダストリアルデザイナー)
佐々木 千穂(エクスペリエンスデザイナー)
佐藤 弘喜(博士(デザイン学))
Juhyun Eune(グラフィック・メディア・デザイナー)

台湾審査ユニット

Manfred Wang(プロダクトデザイナー)
倉本 仁(プロダクトデザイナー)
鈴木 元(プロダクトデザイナー)
Ming-Lung Yu(グラフィックデザイナー)
Wei Hsiung Chan(美学評論家)

香港審査ユニット

Rocco Yim(建築家)
色部 義昭(グラフィックデザイナー)
中坊 壮介(プロダクトデザイナー)
Chi Wing Lee(プロダクトデザイナー)
Jun Cai(教授(デザイン・ストラテジー、マネジメント))
Renke He(デザインディレクター)

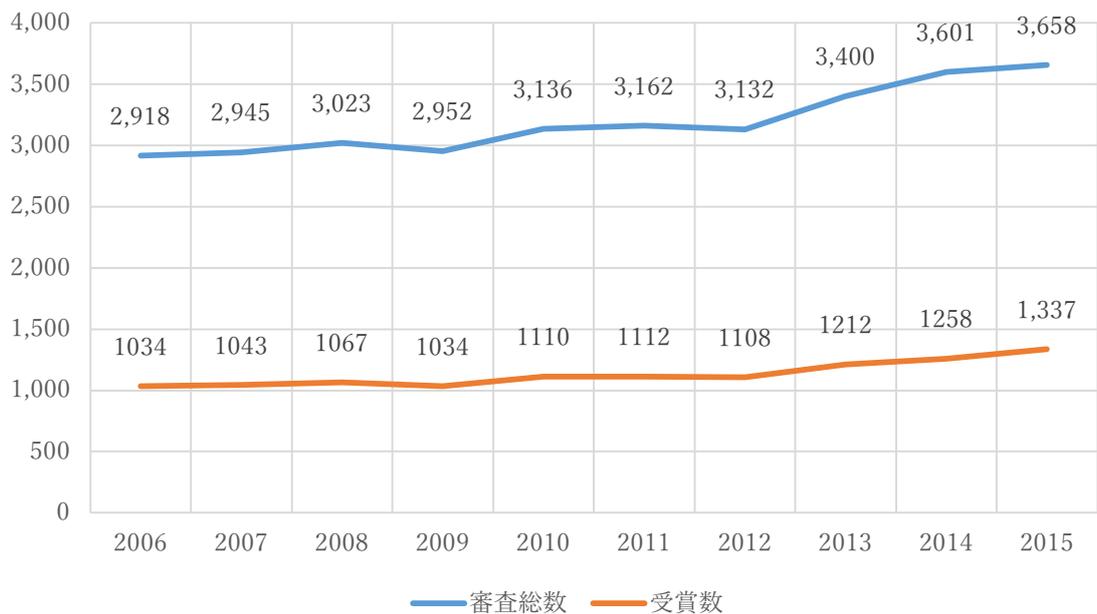
海外デザイン賞との連携応募に対する審査

寺田 尚樹(建築家/デザイナー)
廣村 正彰(アートディレクター)
Boonsanong Ratanasoontragul(プロダクトデザイナー/コンサルタント)
Hridaysh Deshpande(デザイン教育者/コンサルタント)
Ulrich Schraudolph(プロダクトデザイナー)

新潟審査ユニット

重野 貴(プロダクトデザイナー)
遠山 正道(実業家/クリエイティブディレクター)

グッドデザイン賞応募募数、受賞数の推移



「G マーク」の使用

グッドデザイン賞受賞者による「G マーク」の使用は、近年増加傾向で推移しているが、2015年度も堅調な伸びをみせた。特に受賞発表直後にあたる10月から2016年春にかけての新規でのGマーク使用の伸びが顕著で、当該年度の受賞者による活発なプロモーション活動が展開されていることがわかる。

さらに、前年度の受賞者による継続使用についても堅調である。

海外事業

当会では、グッドデザイン賞をはじめ、日本のデザインの国際的なプレゼンスの向上と、デザインを通じた国際交流の促進に取り組んでいる。2015年度は、グッドデザイン賞の運営で培ったデザイン評価と推奨・プロモーションの手法を積極的に活かし、海外のデザイン関連団体やデザイン賞との協力関係の構築、マーケット開拓や人材育成、デザイン情報の発信などの強化に取り組んだ。

タイ、インド、シンガポールのデザイン賞連携・運営支援

タイ「デザインエクセレンス賞」、インド「インディアデザインマーク」、シンガポール「シンガポールグッドデザインマーク」について、日本から審査委員を派遣して審査に加わったほか、セミナー開催、グッドデザイン賞受賞展示などの協力を継続した。

2015年度は初の試みとして、グッドデザイン賞受賞日本企業の現地進出と市場理解支援のため、デザインエクセレンス賞の審査委員にパナソニック・アジアパシフィックの木原岳彦氏が参加した。また、インドの企業経営者にデザインの理解を促進するための「CXO デザインセミナー」をデリーとムンバイで実施し、ソニー・アジアパシフィックの川鯉卓也氏が講師として参加した。

アセアンのデザイン振興

カンボジア、ベトナム、ミャンマー、ラオスのメコン川流域4カ国の産業支援を目的に、国際機関日本アセアンセンターとの共同事業として2013年度から開始した「グッドデザイン・メコンデザインセレクション」は、2015年度に現地メーカーとの協業を本格的に開始した。2014年度セレクション受賞の現地21社の製品を対象に、日本人デザイナーからブランディングや商品開発の提案を募集した結果、12社と日本人デザイナー11人との契約が成立した。これらのデザイナーは現地に2回渡航し、各社の生産現場を理解しながら商品開発を進め、10月のグッドデザインエキシビション2015で成果発表を展示したのち、2016年2月のギフトショーへの出展を実施した。ギフトショー会期中には233件の引き合いを記録して今後の事業発展に向けた成果とした。

海外での出展

4月に日本建築家協会・国際建築活動支援フォーラムと共同でタイの建築・建材フェア ARCHITECT2015に出展し、グッドデザイン賞受賞作の紹介を行ったのははじめ、5月にドイツのiF Design Exhibition Hamburgにてグッドデザイン賞受賞日本企業5社の展示とデザイナーのプレゼンテーションを実施したほか、アジア地域を中心に見本市やイベントでの出展を実施した。

2015年度の海外での出展

台湾	GOOD DESIGN in TAIWAN	4月2日～5月31日
タイ	ARCHITECT 2015	4月28日～5月3日
ドイツ	iF design award×GOOD DESIGN AWARD	5月6日～6月12日
香港	HKTDC Food Expo 2015	8月13日～8月17日
韓国	DESIGNKOREA2015	11月11日～11月15日
インド	India Design Mark Exhibition	2016年3月4日～3月6日



業務連携の拡がり

7月にマカオ・デザインセンターが主催する Macau Design Biennale 2015 で開催されたグラフィックデザインのコンペティションに、審査委員として日本から松下計氏を派遣した。

10月に The Swiss Society of Engineers and Architects との MOU に基づき、スイスと日本から5組ずつ選ばれたデザイナーの共同ワークショップの成果展示「Design Workshop Japan - Switzerland」を東京で行った。

11月には韓国デザイン振興院のデザインコンペで入賞した小中学生 36 名を対象に、グッドデザイン賞の審査を体験するワークショップを東京で実施するなど、連携する相手国やプロモーションの 카테고리・対象・手法は拡大してきている。

このほか、2015 年度に韓国インダストリアルデザイナー協会、アイルランド Design & Crafts Council of Ireland、台湾工業技術研究院、International Association of Universities and Colleges of Art, Design and Media(Cumulus)との間で、それぞれデザイン振興、交流協力に関して覚書を締結し、共同プロモーションや人的交流プロジェクトが進行中である。



教育交流

2010年に浙江大學(中国)および千葉大學との三者間で締結した人材育成に関する連携協定に基づき、11月から浙江大學で、ケーススタディを中心とした全5回の集中演習授業「融合と創意デザイン」を以下の企業とともに実施した。

株式会社ニコン/株式会社島津製作所/トヨタ自動車株式会社/ヤマハ株式会社/ソニー株式会社



インターナショナル・メディアパートナー

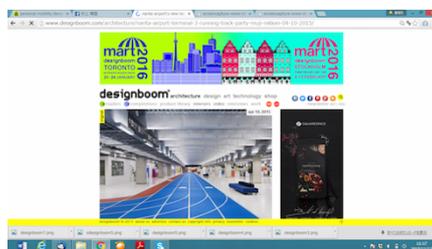
海外でのグッドデザイン賞に対する認知度向上を目指し、2015年度に受賞展「グッドデザインエキシビション 2015」のメディアパートナーとして、下記の海外有力媒体6社を招聘した。受賞展と表彰式の見学に加えて、受賞デザイナーのインタビューを誘導し、各媒体においてより深い内容の記事掲載につなげた。



設計(中国)/天下(台湾)/designboom(イタリア)/Yanko Design(アメリカ)/South China Morning Post(香港)/Maeil Business Newspaper(韓国)



South China Morning Post



designboom



Yanko Design

GOOD DESIGN STORE 事業

2014年5月に香港・セントラル地区PMQに開設した国外初の広報拠点であるGOOD DESIGN STOREは、観光スポットとして話題になるとともに、現地媒体への露出も多く、グッドデザイン賞と日本のデザインに関する情報発信のベースとして機能している。2015年度はグッドデザイン賞受賞商品の紹介とともに、10回の企画展と、内外のデザイナーを招いてのトークイベントやワークショップなどが開催された。

GOOD DESIGN STOREは2015年度から現地法人に運営を移管してフランチャイズ化を推進し、9月に九龍半島の尖沙咀スターハウス内Eslite Spectrum Tsim Sha Tsui Storeに、2016年3月に銅鑼湾地区の商業施設Hysan Place内にそれぞれ新拠点が開設された。また11月にはタイ王国・バンコクの高級商業施設Central EmbassyにGOOD DESIGN STORE Bangkokが開設された。

こうしたGOOD DESIGN STOREのブランド効果と実績に対して、海外のデザインストアより、グッドデザイン賞受賞商品の現地流通に関する相談も寄せられ、2015年度は台湾松山文創区内で台湾デザインセンターが運営するDESIGN PINでの取り扱いも開始されている。

GOOD DESIGN STORE@TST

所在地:L320, Eslite Spectrum Tsim Sha Tsui Store, 3rd Floor, Star Annex, Star House 3
Salisbury Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK

GOOD DESIGN STORE - CWB

所在地:10/F, Hysan Place, 500 Hennessy Road, Causeway Bay, HK

GOOD DESIGN STORE BANGKOK

所在地:Central Embassy, Level 4

1031 Ploenchit Road, Pathumwan, Bangkok 10330 Thailand



OBJECTIVES Design for the Domestic Landscape



BUNACO EXHIBITION



GOOD DESIGN STORE @TST



GOOD DESIGN STORE BANGKOK

広報事業

GOOD DESIGN Marunouchi の開設

2016 年度のグッドデザイン賞創設 60 周年記念事業の一環として、当会による単独運営では日本国内初となる常設型の広報拠点 GOOD DESIGN Marunouchi を、10 月 24 日に開設した。GOOD DESIGN Marunouchi は展示や各種のイベント開催を通じて、グッドデザイン賞の情報発信を行う拠点である。デザインと社会をつなぐ最前線として、企業や教育機関、各種団体などがデザインをテーマに集い交流する拠点として機能するとともに、ビジネスの一大拠点であり、海外からの観光客の増加も著しい丸の内地区における、日本のデザインに関するコミュニケーションのベースとなることを目指している。

GOOD DESIGN Marunouchi の運営にあたり、内藤廣、廣村正彰、藤崎圭一郎の各氏がディレクターに就任した。

所在地：東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 1 階

2015 年度開催の企画展示

近未来のてざわり	10 月 29 日～12 月 13 日	12,676 名
近未来のてざわり2 私の選んだ一品	12 月 18 日～2016 年 1 月 31 日	12,932 名
学ぶ・知る・体験するグッドデザイン	2 月 5 日～3 月 6 日	7,193 名
After311 震災から 5 年のデザイン	3 月 11 日～4 月 10 日	5,248 名

東京ミッドタウン・デザインハブ事業

東京ミッドタウン・デザインハブは、デザインを通じたビジネス・知識・人材の連携と拡張を目的として、2007 年に東京ミッドタウンに開設された広報拠点である。

2015 年度には 9 回の展示会を開催した。うち各構成機関による企画展が 6 回、合同展 1 回、外部企画に基づいた特別展 2 回の実施である。

このうち、当会が事業構想大学院大学とともに企画した 2016 年 2 月開催の「地域×デザイン -まちを編みなおす 20 のプロジェクト-」は、全国各地で進行中の地域創生プロジェクトやコミュニティ活性事業などをテーマに、展示に加えて実施主体者や関係者が連日参加する充実した内容が反響を呼んだ。

これら企画展には合計で約 7 万人の来場者数を記録した。

2015 年度開催の企画展示

第 51 回企画展「〇〇〇も〇〇〇も〇〇〇も 展：〇〇〇も〇〇〇といえる」	4 月 17 日～5 月 31 日	日本デザイン振興会、日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学デザイン・ラウンジ	12,053 名
第 52 回企画展「日本のグラフィックデザイン 2015」	6 月 19 日～8 月 5 日	日本グラフィックデザイナー協会	12,712 名
第 53 回企画展「JAGDA 学生グランプリ 2015」	8 月 28 日～9 月 13 日	日本グラフィックデザイナー協会	2,716 名
特別展「グラフィックトライアル・コレクション 2006～2015」	9 月 18 日～10 月 24 日	凸版印刷株式会社 グラフィック・アーツ・センター/印刷博物館	7,445 名
第 54 回企画展「ラーニング・アーキテクチャー2015 建築、学びの冒険 -大学の建築設計課題の動向展	11 月 20 日～12 月 26 日	武蔵野美術大学デザイン・ラウンジ	6,390 名
特別展「暮らしが選ぶクラフト -第 55 回日本クラフト展」	2016 年 1 月 8 日～1 月 17 日	日本クラフトデザイナー協会	9,076 名



地域×デザイン展



第 55 回日本クラフト展

第55回企画展「デジタルメディアと日本のグラフィックデザイン その過去と未来」	1月29日～2月14日	日本グラフィックデザイナー協会	6,224名
第56回企画展「地域×デザイン -まちを編みなおす20のプロジェクト-」	2月18日～3月6日	日本デザイン振興会	7,014名
第57回企画展「おいしい東北パッケージデザイン展 2015 in Tokyo」	3月9日～4月17日	日本グラフィックデザイナー協会	6,774名

東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズウィーク

東京ミッドタウン・デザインハブでは毎年8月に子ども向け連続ワークショップ企画を開催している。2015年度は10件のワークショップを実施した。今回で8回目の実施となり、ワークショップの企画運営主体は企業、デザイナー、教育研究機関など幅広く、デザインを通じた児童教育や啓蒙、企業による社会貢献促進など多くの点で定評を得ている。さらに東京ミッドタウンの夏季子ども向けイベントのメインコンテンツとしても位置付けられている。



つくって、見て、知る『レンズの世界』

お菓子でつくろう！ミッドタウン Part 2 『あつまれ！東京ミッドタウンお菓子スポット』	8月3日	武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科	28名
「発泡スチロールで作ろう！ピカピカマジカルタウン」	8月5日	株式会社コロプラ	28組
つくって、見て、知る『レンズの世界』	8月7日	株式会社ニコン	20組
磁性体で動く昆虫標本をつくろう	8月8日	株式会社竹尾+早稲田大学	19名
大好きな家族にお手紙ノートを送ろう！	8月8日	MOLESKINE	18名
『かみコップおばけ』をつくろう！	8月8日	大伴亮介	68組
粘土でフィギュアをつくろう！盆踊り編 2015 夏	8月9日	タカハシカオリ	14組
手で描ける！電子回路とヨシムラ折りで紙のランプ	8月10日	株式会社竹尾+株式会社 AgIC	19名
船を作って、ミッドタウンへとびだそう！	8月11日	MAU セイラーズ	392名
親子でなぞっ手サマー	8月12日	むさびてなぞり隊	588名



手で描ける！電子回路とヨシムラ折り
紙のランプ

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンターは、国内外のデザイン関連機関やデザイン教育機関の事業推進、各種のデザイン活動の活性化促進、デザイン人材育成支援を目的とするセミナーやシンポジウム、ワークショップなどを展開している。



2015年度開催のおもなセミナー、シンポジウム、ワークショップ

デザインによる再生 沖縄バスターミナルの提案	4月22日	公益社団法人日本サインデザイン協会
第10回サステナブルデザイン国際会議報告会	5月6日	サステナブルデザイン国際会議実行委員会
Milano Salone Description 報告会	5月29日	MIRU DESIGN
日本の意匠「温故知新」物語第7話	6月19日	公益社団法人日本インテリアデザイナー協会
デザイン保護、最前線	7月13日	公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会
Neo Con 視察報告会	7月16日	住商インテリアインターナショナル株式会社
千葉大学夏季インダストリアルデザイン・ワークショップ	7月27日 ～8月1日	日中文化交流センター
tangible(RCAワークショップ)	8月15日 ～8月18日	株式会社エルトキオ

ソーシャルデザインの可能性: 北欧と英国の試み	9月24日	日本デザイン学会 情報デザイン研究部会
ジェームスダイソンアワード表彰式	11月13日	ジェームスダイソン財団
Affective & Attractive Design Forest 2	11月20日	九州大学大学院芸術工学研究院
デザイナーからの発信～マチオモイ帖に見る広がり可能性～	11月26日	公益財団法人大阪市都市型産業振興センター メビック扇町
ROBOTICS SIGNAGE 情報デザイン X デザイン X テクノロジー	12月4日	公益社団法人日本サインデザイン協会
港区ミュージアムネットワーク全体会	12月11日	東京都港区
パイオニアーズ・アジア参加説明会	2016年1月19日	NIKKEI & PIONEERS 有限責任事業組合
D & AD Creative Directors in Conversation	1月20日	D & AD 日本事務局
iFデザインアワード2016受賞報告会	3月8日	iF International Forum Design GbbH



PR 事業

当会事業に関するメディア向け PR 活動として、2015 年度は国内向けプレスリリースを通年で合計 26 回配信した。内容はグッドデザイン賞事業関連: 11 回、国際事業関連: 5 回、地域創生・震災復興事業関連: 4 回、東京都受託事業関連: 5 回、その他: 1 回である。

メディアでの報道・掲載は、グッドデザイン大賞決定に関する報道が「News Zero」ほか複数のテレビ番組で行われた。各地域ごとのグッドデザイン賞受賞事例に関する報道が、県紙などの地方媒体で増加傾向にある。また、GOOD DESIGN Marunouchi の開設に関して、情報誌やインターネット媒体での掲載が複数みられた。

おもな媒体での紹介・掲載事例

- ・「News Zero」「ZIP!」「news every」「Oha! 4NEWS LIVE」/2015 年 11 月 4 日放映
- ・「日経 MJ」特集記事「ヒトとモノ 次代の関係 15 年度グッドデザイン賞」/2015 年 11 月 12 日
- ・「全国農業新聞」一面記事「デザイン農に接近」/2015 年 12 月 4 日
- ・「日経ビジネス」特集記事(広告)「企業、そして日本社会を前進させるデザインのポテンシャル」/2015 年 4 月
- ・「PEN Online」特集記事「よいデザイン」は社会を変える!」/2015 年 10 月
- ・「CINRA.NET」特集記事「社会と並走した 60 年。『グッドデザイン賞』に世の中の変動を見る」/2015 年 10 月
- ・「ブレン」特集記事「グッドデザイン賞から見えた未来へのスキーム」/2016 年 2 月号
- ・中国「裝飾」特集記事/2015 年 9 月
- ・「designboom」特集記事「g-mark japan GOOD DESIGN award 2015」/2015 年 10 月
- ・韓国「Maeil business newspaper」特集記事「韓중기 20 년만 日 굿디자인 특별상」/2015 年 11 月
- ・香港「South China Morning Post」特集記事「POSITIVE SPIN」/2015 年 11 月
- ・台湾「天下」特集記事「美興功能之外好設計要有温度」/2015 年 11 月
- ・中国「設計」特集記事「町村?都市青年一个“老家”ほか」/2015 年 12 月号・2016 年 1 月号



News Zero



日経ビジネス



日経 MJ



全国農業新聞

連合広告

読売新聞、朝日新聞、日本経済新聞において、10 月から 12 月にかけてグッドデザイン賞の受賞企業連合広告特集を実施した。

地域プロモーション

地方創生・地域づくりデザインプロジェクト

地方において、地域資源を活用したオリジナリティある商品やサービスの創出、地域の魅力をアピールした観光誘致、住民が地域でいきいきと働くことのできる環境づくりが重要な課題となっている。このプロジェクトは、地域密着型の金融機関である信用金庫と当会が連携し、自治体とその地域の事業者の新規事業をビジネス面、デザイン面からバックアップすることにより、地域がデザインを活用して成長する基盤づくりを担う。プロジェクトの第1弾である「西和賀デザインプロジェクト」は岩手県西和賀町から事業を受託し、町内の事業者と岩手県で活躍するデザイナーをマッチングし、ビジネス開発を行っている。2015年度は6事業者の商品開発とそれらを総括した独自ブランドである「ユキノチカラ」ブランドの開発に着手し、これ以降、販路開拓、観光誘致へとつなげる仕組みづくりに展開していく。

事業委託者：西和賀町

実施者：西和賀町事業者

商品およびブランドの企画・デザイン：岩手県在住デザイナー

地域内調整、経営支援、販路拡大支援：北上信用金庫

商品開発アドバイス：岩手県工業技術センター

実施体制構築、運営支援：信金中央金庫

事業受託者、プロジェクトの企画・運営・広報：日本デザイン振興会



事業構想大学院大学との連携

全国各地で進められる地域活性化やコミュニティ創生の取り組みに関して、豊富な情報ネットワークと検証の実績を持つ事業構想大学院大学との連携に基づき、各地のプロジェクトでデザインがどのように活かされているかを明らかにするとともに、デザインの社会的活用を促すための事業に着手した。2016年3月の東京ミッドタウン・デザインハブでの「地域×デザイン -まちを編みなおす20のプロジェクト-」開催を皮切りに、今後各地のプロジェクトに関する情報発信や事例研究などに継続して取り組む。

ビジネスサポート

東京ビジネスデザインアワード

東京都が主催し、当会が企画運営を行う「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内のものづくり中小企業が持つ技術・素材をテーマとして募集し、各テーマに対して全国のデザイナーから新規用途開発を軸としたビジネスプランを募集。有識者による審査により、優れた技術力を持つ中小企業と企画提案力のあるデザイナーをマッチングし、ビジネス実現化に向けた支援を実施している。2015年度は、より充実した商品化・事業実現化を目指し、知財戦略・デザイン契約、広報戦略、販路開拓のサポート強化に務めた。

スケジュール：

4月16日～6月23日 開催概要発表・テーマ募集

6月29日 テーマ審査会

8月12日～10月30日 テーマ発表・提案募集

11月6日 提案一次審査

11月25日 提案二次審査

2016年1月27日 提案最終審査・結果発表・表彰式



審査委員:

廣田尚子 プロダクトデザイナー／ヒロタデザインスタジオ 代表(審査委員長)
川田誠一 工学博士／産業技術大学院大学 産業技術研究科長・教授
服部滋樹 デザイナー・クリエイティブディレクター／デコラティブモードナンバーズリー 代表取締役
日高一樹 デザイン・知的財産戦略コンサルタント／日高国際特許事務所 所長
山田遊 バイヤー・クリエイティブディレクター／株式会社 method 代表

最優秀賞・テーマ賞(1件)

テーマ／羽がないのに攪拌できる“遠心式攪拌技術” 株式会社 IPMS
提案／遠心力を活かした攪拌ツール 小関隆一

優秀賞・テーマ賞(2件)

テーマ／キャンドルの製造で培った“ワックス成形技術” 佐藤油脂工業株式会社
提案／天然素材を使用した多機能ワックス サワノエミ
テーマ／高輝度反射材を使った“高精細レーザープリント技術” 八欧産業株式会社
提案／高輝度反射材を使ったファッションリメイクブランド 三浦慎也、本田 新、良知耕平



最優秀賞



優秀賞



優秀賞

デザインコンサルティング講座

デザインコンサルティング講座「TOKYO DESIGN EXERCISE」は、デザイナーが中小企業と効果的にデザイン開発を行うために有用な知識を獲得する講座として2012年度より実施している。実務的なデザイン業務のほか、企画、販促、広報など、ビジネス全体の提案とクオリティ管理を担うプロデューサー的デザイナー育成を目的としている。2015年度は全8回の講座を「Planning」「Realize」「Direction」「Management」の4つにテーマ分けし、開発プロセスに沿った内容の講座として展開した。

TOKYO DESIGN EXERCISE

期間:2016年3月9日～3月23日

- 「日本の伝統産業を活かし、次世代につなげる」
矢島里佳 クリエイティブ・ディレクター／株式会社和える 代表取締役
- 「事業をデザインする」
ナカムラケンタ 実業家、編集者／株式会社シゴトヒト 代表取締役
- 「プロジェクトの成功をデザインする」
吉泉聡 デザイナー・クリエイティブディレクター／TAKT PROJECT Inc. 代表取締役
- 「ものづくりのつくり方」
永田宙郷 プランニングディレクター／株式会社イクス 代表取締役
- 「ものがもの言うブランディング」
倉本仁 プロダクトデザイナー／株式会社ジンクラモスタジオ 代表取締役
- 「デザインで感じ良い暮らしから、感じ良い社会へ 無印良品のデザイン手法」
矢野直子 株式会社良品計画 生活雑貨部 企画デザイン室長
- 「デザイナーの役割を考える」
小関隆一 デザイナー／リュウコゼキデザインスタジオ 代表
- 「ネット時代における知的財産権と契約の基礎知識」
水野祐 弁護士／シティライツ法律事務所 代表、Arts and Law 代表理事

震災復興支援事業

グッドデザイン賞による支援

2011年6月に「復興支援デザインセンター」を設立し、東日本大震災被災地域の産業と経済の復興支援として7県(青森県、秋田県、山形県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県)を対象としたデザインプロモーションを実施、該当地域を拠点とする事業者のグッドデザイン賞応募費用を無償としてきた。

2015年度は対象地域から合わせて62件(うち特別賞2件)の受賞があった。この5年間で7県合わせて335件の受賞があり、措置以前の状況から見ると大幅に受賞数が増加している。特に伝統工芸、木工品等の小規模事業者による商品や、震災復興を中心とした活動のデザインなどをグッドデザイン賞の俎上に乗せることができた。

2015年度グッドデザイン賞県別受賞件数(復興支援措置対象地域)

青森県 2件、秋田県 4件、山形県 5件、岩手県 10件、宮城県 17件、福島県 10件、茨城県 14件

特別賞(2件)

地域づくりデザイン賞:古民家 シェアビレッジ

復興デザイン賞:コミュニティづくり 石巻・川の上プロジェクト



シェアビレッジ



石巻・川の上プロジェクト

復興デザインマルシェ

2016年3月に東京ミッドタウンで「復興デザインマルシェ」を開催し、プロモーション地域の事業者には展示・販売の機会を提供した。つくり手と消費者が出会えるイベントとして、2011年度より毎年開催しており好評を博している。本年度は「西和賀デザインプロジェクト」の開発商品発表を行い、キッチンカーでの郷土料理販売も行った。本イベントブース用に使用した木材(秋田杉)は東北ツリーハウス観光協会に寄贈され、今後ツリーハウスの材料となる。

会期:2016年3月22日(火)、3月23日(水)

会場:東京ミッドタウン アトリウム

共催:KDDI株式会社 特別協力:東京ミッドタウン

出店者:東北地方・茨城県のメーカー、デザイナーなど35事業者



平成27年度事業報告（総務関係）

1. 会務（役員会等の開催について）

（1）評議員会

第13回

平成27年6月25日（木）15時30分-17時 当会会議室

- ・平成26年度決算報告書（案）
 - ・次期理事及び監事の選任（案）
- （報告事項：平成26年度事業報告書）

第14回

平成27年11月4日（水）11時30分-12時30分 ザ・リッツ・カールトン東京 ボードルーム

（報告事項：平成27年度事業及び60周年記念事業等）

第15回

平成28年3月17日（木）15時-16時40分 当会会議室

- ・平成28年度事業計画書（案）
 - ・平成28年度収支予算書（案）
- （報告事項：平成28年度グッドデザイン賞審査委員の委嘱、マイナンバー制度対応、今後の役員会日程）

（2）理事会

第14回

平成27年6月12日（金）15時-16時30分 当会会議室

- ・平成26年度事業報告書（案）
 - ・平成26年度決算報告書（案）
 - ・評議員会の招集（案）
- （報告事項：事業の進捗報告、理事交替報告）

第15回

平成27年6月25日（木）17時15分～17時45分 リエゾンセンター・セミナー室

- ・理事長及び常務理事の選任（案）
- ・役員（常勤役員）の在任年齢に関する規程の特例（案）
- ・グッドデザイン・フェロー称号の贈呈先候補者（案）

第16回

平成27年12月10日（木）16時-17時30分 当会会議室

(報告事項：今年度事業進捗)

第 17 回

平成 28 年 2 月 25 日 (木) 15 時-16 時 30 分 当会会議室

- ・平成 28 年度事業計画書 (案)
- ・平成 28 年度収支予算書 (案)
- ・平成 28 年度グッドデザイン賞審査委員の委嘱 (案)
- ・評議員会の招集 (案)

(報告事項：マイナンバー制度対策、今後の役員会関連日程)

(3) 監査等

監事監査：平成 27 年 6 月 10 日(水)

- ・平成 26 年度事業報告書 (案)
- ・平成 26 年度決算報告書 (案)

監査法人監査：

新日本有限責任監査法人会計監査

期末監査

平成 27 年 5 月 21 日 (木)・22 日 (金)、27 日 (水)、28 日 (木) 29 日 (金)、6 月 1 日 (月)

当会会議室

平成 26 年度決算

期中監査

平成 27 年 12 月 4 日(金)、7 日 (月)、14 日 (月)、平成 28 年 2 月 4 日 (木)、5 日 (金)

当会会議室

平成 27 年度会計

2. 賛助会員の現状

2015 年度の賛助会員および情報会員数は 212 で、会費は広く公益事業に役立てている。

3. 後援、協賛事業について

2015 年度に当会が後援ならびに協賛の名義を提供した外部企画：

33 団体のべ 38 件であり、当会は各地・各種の公益事業に広く協力している。

供与先内訳： 自治体およびその関連機関 8 デザイン専門団体 10 業界団体 6
民間企業 7 教育機関：2

事業内訳: デザイン展 10 見本市 11 デザインコンペ 12
 セミナー・ワークショップ等 5

4. グッドデザイン・フェローについて

グッドデザイン・フェロー称号授与式の実施

日時:平成 27 年 11 月 4 日 (水) 13 時 00 分-13 時 40 分

場所: インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

授与者: 第 15 回理事会の議決により、下記 8 名に称号を贈呈。(敬称略)

井出亜夫 / 稲葉賀恵 / 九戸眞樹 / 西山浩平 / 益田文和 / 松尾慶一 /
 山村真一 / Tony K.M.Chang

5. 業務管理・調整について (規程、内規、業務調整等の実績)

(1) 各種規程・内規等の新設及び改正

年月日	規程等	実施事項	概要
2015 年 12 月 1 日	個人番号および特定個人情報取扱規程 (個人情報管理規程)	新設	個人情報管理規定の制定 (役員会報告済み) マイナンバー制度導入対策 ・取扱者の決定 ・安全な取り扱い環境の確保 ・専用ソフト導入 等
2016 年 2 月 29 日	人事考課実施に関する内規	新設	業務評価制度の導入 ・業務目標を設定し、成果及び能力について考課を実施 ・期末手当考課 ・昇給昇格考課等
2016 年 2 月 29 日	人事考課 (期末手当) の実施に関する内規	改正	業績評価査定区分の変更
2016 年 4 月 1 日	個人情報に関する基本方針	新設	プライバシーポリシー (HP 公開) ・個人情報に関する法令を遵守し、適切に取り扱い、保護に努める旨の組織としての表明開示

年月日	規程等	実施事項	概要
2016年4月1日	会計規則	一部改正	現状（実態）に適合する修正 ・ 役職名 ・ 関係法令、定款の規定 ・ 契約に関わる金額等
2016年4月1日	公印規程	一部改正	・ 使用範囲の明確化 ・ 公印管理方法の改正等
2016年4月1日	兼業・兼職規程	一部改正	運用ルールの明確化 休暇処理の明確化等
2016年4月1日	事務決裁に関する内規	新設	業務執行手続きの効率化を図るための改正 ・ 事案に応じた専決者の規定 ・ 様式の簡素化等

(2) 各種業務調整

年月日	項目	実施事項	概要
2015年4月7日	経理処理についての確認	経理通達	関連規程にもとづいた経理処理の原則遵守の注意喚起等
2015年8月14日	常務会設置要領	新設	重要事項の審議・決定の簡明化・迅速化を図るため、「常務会」を設置。 重要稟議事項については、稟議書起案前の段階で、「常務会」にて十分な説明・審議を行うことを原則とする。 (構成員) 理事長及び常勤役員により構成。 (議長) 理事長がこれを行う。常務会で意見の一致が見られない案件は理事長がその取扱いを決定する等。

年月日	項目	実施事項	概要
2015年9月18日	公用支出にかかる「コーポレートカード使用に関する規則等」の徹底について	事務局長通達	コーポレートカード取扱規程遵守の徹底 カード利用時の証憑管理の徹底等
2015年11月11日、 24日	役職員の内外出張時等における危機管理の徹底について	事務局長通達	出張者及び外部委員等出張同行者の緊急時連絡先確認の徹底 行程、フライト便、宿泊先、出張時緊急連絡先等の事前提出徹底 出張伺書の事前提出の義務化等
2016年3月2日	人事考課（業務目標の設定等）の変更等に関する通達	事務局長通達	評価の仕組みの変更説明 ・業務目標を設定させ、それに対する取り組みと成果を考課する仕組みに変更等
2016年3月24日	未収金回収ガイドライン	改正	未収金削減のための手続きと目安の周知 ・回収手続と対応の原則を明示 ・損金算入の判断等
2016年4月1日	臨時補助員（パートタイマー）雇用契約に関する通達	改正	雇用原則の徹底 雇用条件の明示等
2016年4月27日	常務会への審議事項申請及び内部文書決裁事項に関する注意喚起	事務局長通達	審議事項の精査、確認

6. 行政当局等による監査、立ち入り検査等について

平成27年度に実施された監査、検査はない。

例.（麻布税務署税務調査）（内閣府立入検査）（公益財団法人JKA監査）（東京都補助金事業監査）等

7. 資産管理の現状

保有資産の運用について、運用利息は少ないが流動性がある手堅い債券等へ置き換える方針でこの数年取り組んできた。平成27年度期末に作業をほぼ完了。運用利息収益は減少したものの、財団の財産基盤を大きく改善した。

【基本財産・特定資産の構成割合と評価額・運用利息】

	資産割合			評価額（円） （3.31.現在）	利息（円） （年間）
	預金	仕組債	国債・地方 債・社債等		
H24 年度	1.3%	93.5%	5.2%	1,085,507,433	55,539,464
H25 年度	41.7%	32.8%	25.5%	1,286,067,926	65,184,645
H26 年度	23.1%	22.7%	54.2%	1,425,831,488	53,357,547
H27 年度	0.1%	10.1%	89.8%	1,596,329,150	29,957,499

8. その他

（参考）事業決算等における公益認定に関する留意事項（別紙により口頭にて説明。）